

(11) 沖縄



沖縄地域では、景気は東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる。

- ・ 観光は東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は東日本大震災の影響により、極めて厳しい状況にあるものの、下げ止まりつつある。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 23 年 5 月)	今回 (平成 23 年 8 月)	
景況判断	東日本大震災の影響により、弱まっている	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動き	
観光	東日本大震災の影響により、大幅に減少	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動き	
個人消費	おおむね横ばい	持ち直し	
住宅建設	増加	大幅に増加	
雇用情勢	悪化し、極めて厳しい状況	極めて厳しい状況にあるものの、下げ止まりつつある	

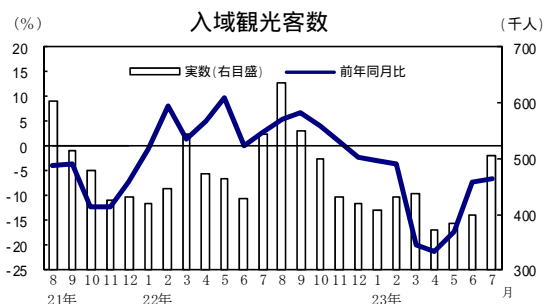
1. 観光及び企業動向

(1) 観光は東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる。

入域観光客数のうち、国内客については、5月は航空機の提供座席数の減少や東日本大震災後の消費マインド低下に伴う旅行手控え等により、前年同月実績を下回った。6月、7月は関西方面の修学旅行の沖縄への振り替えや消費自粛の反動による旅行需要の増加等から、前年同月実績を下回ったものの減少幅は縮小している。

外国客については、チャーター便の運航やクルーズ船の寄港が前年よりも少なかったこと等から、前年を下回った。

主要ホテルの客室稼働率は、那覇市内ホテル、リゾートホテルともに前年を下回っているが、減少幅は縮小している。



入域観光客数等の動向

(単位: 千人、%)

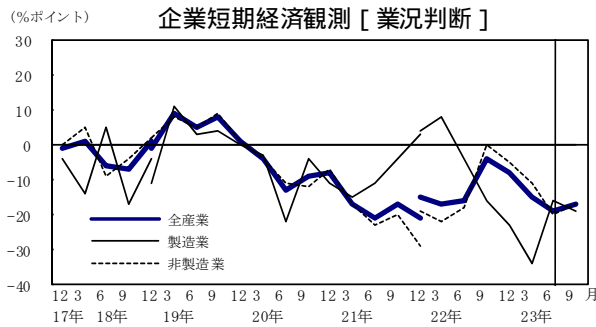
	22年10-12月	23年1-3月	4-6月	23年7月
入域観光客数	1,351	1,273	1,153	507
(前年比)	1.1	▲9.7	▲15.5	▲6.7
ホテル稼働率	61.6	65.3	54.9	-
(前年差)	▲0.2	▲6.1	▲10.6	-

(備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光政策課調べ。

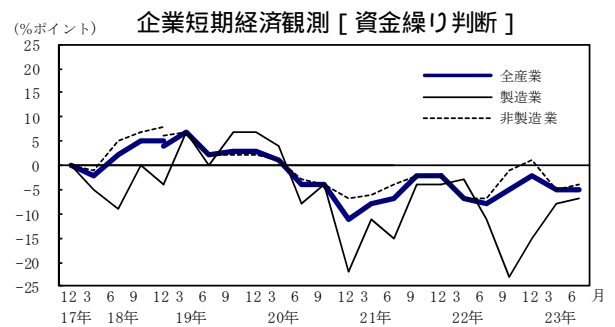
2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「苦しい」超幅が横ばいとなっている。

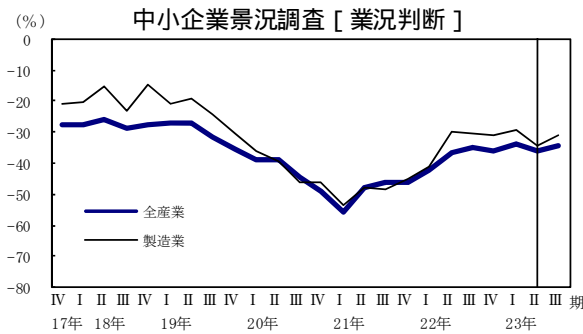
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考) 「良い」 - 「悪い」 回答者数構成比。23年9月は予測。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考) 「楽である」 - 「苦しい」 回答者数構成比。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考) 「好転」 - 「悪化」 回答者数構成比。23年Ⅲ期は見通し。
九州(含む沖縄)地区のD I。

景気ウォッチャー調査(5月)[企業動向関連(現状)]

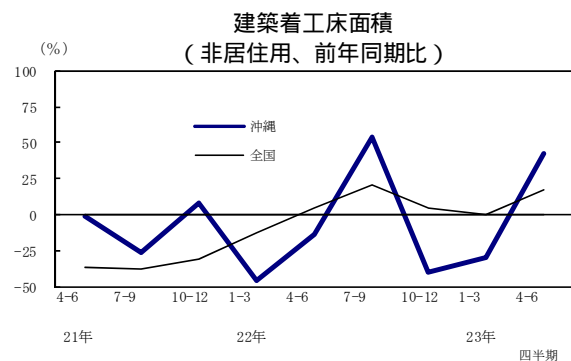
「金額面での落ち込みがあるものの、例年どおりの受注量である(コピーサービス業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 23年度の設備投資は前年度を大幅に下回る計画となっている。

企業短期経済観測調査[設備投資(6月調査)]

	(前年度比、%)	
	22年度実績	23年度計画
全産業	▲16.7(1.5)	▲27.9(0.1)
製造業	▲38.7(▲29.5)	▲5.3(▲20.9)
非製造業	▲13.2(6.8)	▲30.4(4.4)

(備考) ()は前回(3月)調査比修正率。石油・電力を除く。



2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直している。

百貨店販売額、スーパー売上高

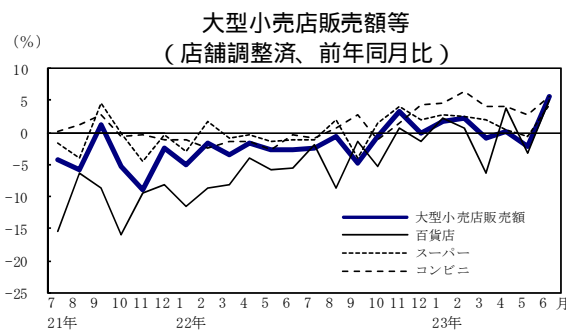
大型小売店販売額は、前年同期比で1.1%増、前期比で1.1%減となった。

百貨店は、4月は一部店舗のリニューアル効果による衣料品等の増加により、前年を上回った。5月は天候要因等により食料品が減少し、前年を下回った。6月は天候の安定化に伴う客数の増加や、衣料品、食料品の好調により、前年を上回った。

スーパーは、梅雨明けが例年より早かったことなどによる客数の増加や衣料品の好調等により、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査(7月)[家計動向関連(現状)]

「海外からも観光客が増えてきている(一般小売店[靴・袋物])」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた。



	22年7-9月	10-12月	23年1-3月	4-6月
大型小売店(*1)	▲2.6	0.8	1.1	1.1
百貨店(*1)	▲4.1	▲1.9	▲1.2	1.8
スーパー(*1)	▲1.0	2.4	2.4	1.3
大型小売店(*2)	▲2.0	0.7	0.6	▲0.5
季節調整値(*3)	(▲0.0)	(▲0.5)	(0.6)	(▲1.1)
乗用車(*4)	17.5	▲30.5	▲24.7	▲33.4
季節調整値(*4)	(5.6)	(▲38.5)	(14.8)	(▲10.8)

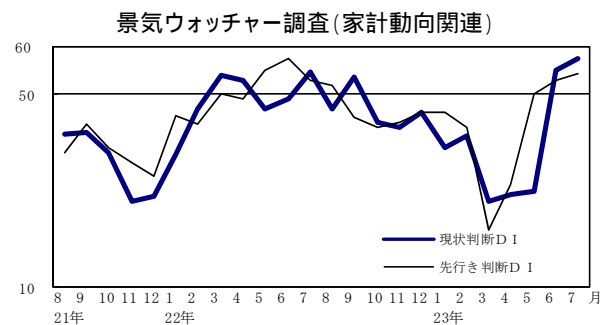
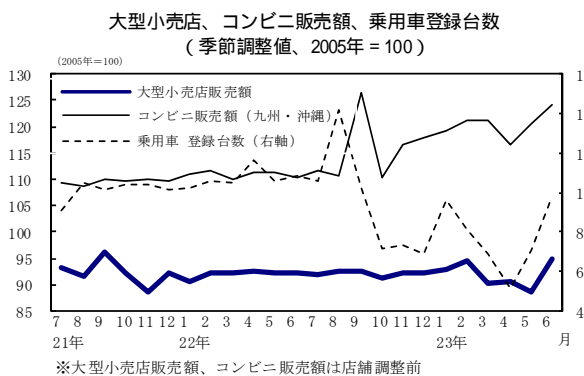
(備考) 1. 大型小売店は経済産業省調べ(店舗調整済)。百貨店、スーパーは日本銀行那覇支店調べ(いずれも既存店)。前年同期比(%)

2. 店舗調整前、前年同期比(%)

3. 店舗調整前、前期比(%)

4. 乗用車は乗用車新規登録・届出台数

(上段：前年同期比、下段：前期比、%)



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

貸家が前年を大幅に上回ったことから、全体でも大幅に増加している。

(3) 公共投資は23年度累計で見ると前年度を下回っている。

